

◎日本国とオーストリアとの間の貿易に関する交換公文

(略称) オーストリアとの貿易取極

昭和四十六年十二月二十四日 ウィーンで  
昭和四十六年十二月二十四日 効力発生  
昭和四十七年二月七日 告示

(外務省告示第一七号)

目 次

ページ

オーストリア側書簡……………	一九
(1) 一九六六年の取極の一九七二年への適用……………	一九
(2) 新取極締結の交渉……………	一九
(3) ガット第三十五条の援用撤回の討議……………	一九
日本側書簡……………	二〇

(日本国とオーストリアとの間の貿易に関する交換公文)

(オーストリア側書簡)

(訳文)

書簡をもつて啓上いたします。本官は、オーストリア政府及び日本国政府の代表がウィーンにおいて最近行なつた会談に言及し、会談の結果到達した次の了解を確認する光榮を有します。

一九六六年の取極  
二年の取極  
適用

新取極締  
結の交渉

ガット第  
三十五條  
の援用撤  
回の討議

(1) 千九百七十二年十二月三十一日までの間、オーストリアと日本国との間の貿易関係は、千九百六十六年十一月四日付けの交換公文に盛り込まれた取極(千九百七十年十二月二十三日付けの交換公文により改訂された「オーストリア輸入品目表」を含む)の規定に基づいて引き続き規律される。

(2) ただし、日本国政府が、千九百七十二年内にこの取極に代える目的をもつて新たな貿易取極を締結することを希望する場合には、オーストリア政府はその取極の締結のためいつても交渉を行なう用意がある。

(3) オーストリア通商産業省は、日本国に対するガット第三十五條の適用撤回問題に関してできる限りすみやかに日本国政府と討議することに同意する。

本官は、貴官が前記のことを貴国政府に代わつて確認されれば幸いであります。

本官は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて貴官に向かって敬意を表します。

オーストリアとの貿易取極

(Austrian Letter)

Vienna, 24 December 1971

Sir,

I have the honour to refer to the discussions which have recently taken place in Vienna between the representatives of the Austrian and Japanese Governments and to confirm the following understanding reached as a result of the discussions:

(1) Until 31 December, 1972, the trade relations between Austria and Japan shall continue to be regulated on the basis of the provisions of the arrangement embodied in the letters exchanged on 4 November, 1966, including the "Austrian Import List", as amended by the letters exchanged on 23 December, 1970.

(2) However, should the Japanese Government wish to conclude a new trade arrangement, with a view to replacing thereby the present arrangement in the course of 1972, the Austrian Government is at any time prepared to negotiate for the conclusion of such an arrangement.

(3) The Federal Ministry of Trade and Industry of Austria agrees to discuss as soon as possible with the Japanese Government the problem of the withdrawal of application of the Article XXIV of GATT towards Japan.

I shall be grateful, if you would confirm the foregoing on behalf of your Government.

Accept, Sir, the assurances of my high consideration.

千九百七十一年十二月二十四日にウィーンで

連邦通商産業省

参事官 ジョセフ・マイスル

日本国大使館参事官 佐々木正賢殿

Mr. Seiken Sasaki  
Minister-Counsellor  
Japanese Botschaft  
Wien

(Signed) Josef MEISL  
Ministerialrat  
Federal Ministry of  
Trade and Industry

(日本側書簡)

(訳文)

書簡をもつて啓上いたします。本官は、本日付けの貴官の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

(オーストリア側書簡)

本官は、さらに、前記のことを本国政府に代わつて確認する光栄を有します。

本官は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて貴官に向かって敬意を表します。

Sir,

I have the honour to acknowledge the receipt of your letter of today's date which reads as follows:

(Japanese Letter)

Vienna, 24 December, 1971

"(Austrian Letter)"

I have further the honour to confirm the foregoing on behalf of my Government.

Accept, Sir, the assurances of my high consideration.

千九百七十一年十二月二十四日にウィーンで

日本国大使館参事官 佐々木正賢

連邦通商産業省参事官

ジョセフ・マイスル殿

(Signed) Seiken Sasaki

Minister-Counsellor  
Embassy of Japan in  
Austria

Herrn  
Ministerialrat Dkfm. Dr. Josef Meisl  
The Federal Ministry of Trade and  
Industry  
Vienna

(参考)

この取極は、一九六六年の貿易取極（昭和四十一年二国間条約集・条約集第一六五三号参照）が、一九七二年の日墺間の貿易関係についても引続き適用されることを定めたものである。